

「第5回 周東総合病院学術交流会」を開催しました

当院では、毎年多くの職員が全国で開催されている学会や、研修会等で発表及び講演を行っています。しかし、誰がどのような研究発表をしているのか、どのような学会で活躍しているのか、職員同士の共有が図れていない現状がありました。そこで、全国学会や地方の研究会における研究発表の内容を病院へフィードバックし、スタッフ同士の横の壁を壊し、多職種の交流・情報共有を図ることを目的として、5年前より当院で学術交流会を開催しています。

第5回目となる学術交流会は平成30年3月23日(金)に開催しました。平成29年度に学会発表した演題や、認定看護師を取得し、一年間の活動報告などの中から、看護部(2題)、医局、居宅介護支援事業所、放射線技術科の計5題の発表がありました。また、昨年の交流会で優秀賞(ベストプレゼンテーション賞)を受賞した医師に座長をしてもらいました。

参加者は総勢91名(医師13名、看護師48名、事務員12名、その他コメディカルスタッフ18名)でした。今回、座長の医師が人生初めての座長ということで、質疑応答では一人一人への質問を用意しており、座長にしても演者や、傍聴のスタッフも大変有意義な交流会となったと思います。アンケートでは、「内容がよかった。今後も続けてほしい。」や、「今後の実践にいかしたい。」との意見の他に、「座長の質問がよかった。」「発表内容が参考になり、刺激になった」など、今回は前回に比べ、専門的で無く、全体がわかるような発表内容であったため、78%のスタッフが今後実践に役立つとアンケートに回答していました。

今後も、多職種の交流、情報共有の場として少しでもスタッフの研鑽となるよう、活動を継続していきたいと思えます。

(周東活性化プロジェクトチーム) 臨床工学科 安本圭亮

